

は　じ　め　に

当研究所が設立されたのは、昭和24年9月3日で、やがて40年を経過し、41年目を迎えることになります。この間、再三の移転、内部機構の一部変更、食糧栄養研究所の併合、公害関係業務の独立などいろいろと時代の変遷に伴う組織上の改組も経て今日に至っております。業務内容においても、多くの先輩達は、それぞれの時代の衛生行政の緊急対策課題に即応した取り組みを続けて来られ、衛生研究所の公衆衛生の向上に果たしてきた役割は大きく、その業績も高く評価されてきたところであります。

しかし、保健衛生を取り巻く社会事情は、従来にも増して急激に変化しており、特に、最近の高齢化に伴う疾病構造の変化、食生活や食品産業構造の変化、環境汚染問題の複雑化、人および物の国内・国外間移動・流通の迅速化などに対応したきめ細かな保健サービスを求める道民の期待に応えると共に、急速な進歩を示している科学技術を公衆衛生の分野に取り入れた試験検査・調査研究を推進するなど衛生研究所の在り方もえていかなければならない時代に来ていると思います。

21世紀に向けて、衛生研究所は、先端技術を取り入れた調査研究、試験検査、研修指導、情報活動の四つの機能をバランス良く備えたレファレンス・サービス・センターとして、保健衛生の分野で地域社会の需要に応えるべく、今後一層の研さんを重ねて行かなければならぬと考えております。

本研究所報は、職員一同がそれぞれの分掌分野において、新たな意識をもって努力し、積み重ねてきた調査研究成果の集大成であります。忌たんのない御批判、御意見と合わせて一層の御指導、御助言を賜れば幸と存ります。

平成元年8月

北海道立衛生研究所長 熊 谷 満